【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【公開番号】特開2020-49060(P2020-49060A)
【公開日】令和2年4月2日(2020.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2020-013
【出願番号】特願2018-183317(P2018-183317)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和3年9月22日(2021.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果となることに基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技が実行可能となる遊技機であって、
表示画面を有する主表示装置と、
前記主表示装置よりも画面サイズが小さい表示画面を有する副表示装置と、
前記識別情報の変動表示中に所定の変動演出を実行可能な変動演出実行手段と、を備え、
前記変動演出実行手段は、
前記変動演出として、前記変動表示の表示結果が特定表示結果となるか否かを示す特定変動演出を実行可能であって、
前記特定変動演出として第１特定変動演出を実行する場合と第２特定変動演出を実行する場合とがあり、
前記第１特定変動演出を実行する場合には、前記主表示装置と前記副表示装置のうち前記主表示装置の表示画面で前記第１特定変動演出を実行することが可能であり、
前記第２特定変動演出を実行する場合には、前記主表示装置と前記副表示装置の両方の表示画面で前記第２特定変動演出を実行することが可能である
ことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記特定変動演出の態様として、通常態様と特別態様が設けられており、
前記特別態様による前記特定変動演出が実行される場合には、前記通常態様による前記特定変動演出が実行される場合と比較して、前記識別情報の変動表示の表示結果が前記特定表示結果となる可能性が高くなるものとされており、
前記変動演出実行手段は、前記特別態様による前記特定変動演出として、前記第１特定変動演出を実行する場合と前記第２特定変動演出を実行する場合とがある
ことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００６】
前述の課題を解決するために、本発明は以下の構成を採用した。
（１）手段１の遊技機は、
識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果となることに基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技が実行可能となる遊技機であって、
表示画面を有する主表示装置と、
前記主表示装置よりも画面サイズが小さい表示画面を有する副表示装置と、
前記識別情報の変動表示中に所定の変動演出を実行可能な変動演出実行手段と、を備え、
前記変動演出実行手段は、
前記変動演出として、前記変動表示の表示結果が特定表示結果となるか否かを示す特定変動演出を実行可能であって、
前記特定変動演出として第１特定変動演出を実行する場合と第２特定変動演出を実行する場合とがあり、
前記第１特定変動演出を実行する場合には、前記主表示装置と前記副表示装置のうち前記主表示装置の表示画面で前記第１特定変動演出を実行することが可能であり、
前記第２特定変動演出を実行する場合には、前記主表示装置と前記副表示装置の両方の表示画面で前記第２特定変動演出を実行することが可能である
ことを要旨とする。
（２）手段２の遊技機は、手段１の遊技機において、
前記特定変動演出の態様として、通常態様と特別態様が設けられており、
前記特別態様による前記特定変動演出が実行される場合には、前記通常態様による前記特定変動演出が実行される場合と比較して、前記識別情報の変動表示の表示結果が前記特定表示結果となる可能性が高くなるものとされており、
前記変動演出実行手段は、前記特別態様による前記特定変動演出として、前記第１特定変動演出を実行する場合と前記第２特定変動演出を実行する場合とがある
ことを要旨とする。